

2022年 安全報告書



えちぜん鉄道株式会社

目 次

1. ごあいさつ	1
2. 輸送の安全を確保するための基本的な方針等	2
(1) 安全方針	2
(2) 令和3年度安全目標と安全重点施策の実施結果	3
(3) 令和4年度安全目標と安全重点施策の策定	4
(4) 令和4年度「安全・サービス・原価低減」行動指針	5
3. 安全管理体制と仕組み	6
(1) 安全管理体制の構築	6
(2) 責任者と役割	7
(3) 情報伝達・コミュニケーションの確保	7
(4) 内部監査	8
(5) 安全管理体制の構築・改善に必要な教育・訓練等	9
(6) 運輸防災マネジメント指針	10
(7) マネジメントレビューと継続的改善	11
4. 鉄道運転事故、輸送障害について	12
(1) 鉄道運転事故	12
(2) 輸送障害	13
5. 安全・安心への取組について	14
(1) 駅構内の安全・安心対策	14
(2) 踏切道の安全・安心対策	15
(3) 線路・電気・車両の安全・安心対策	17
(4) 社員の管理、教育、育成	18
(5) 重大な事故等への対応訓練	22
(6) 再発防止及び輸送の安全の確保のために講じた措置	23
(7) 安全対策事業	25
(8) 新型コロナウイルス感染症対策	26
6. お客さま、沿線の皆さまとともに	27

1. ごあいさつ



えちぜん鉄道株式会社
代表取締役社長 山岸 正裕

日頃より、えちぜん鉄道をご利用いただきまして誠にありがとうございます。また、沿線地域の皆様におかれましては、利用促進活動に多大なるご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

弊社は平成15年の開業以来、鉄道事業者の目的である「輸送の安全の確保」を最重要課題と位置づけ、お客様への安心と信頼にお応えすべく、安全で安定した輸送に取り組んでおります。

令和3年度においても長引く新型コロナウイルス感染症の影響の下、感染者数の増加という不安要素を抱えながらも感染症対策を徹底し、公共交通機関としての大きな使命と責任を果たしてまいりました。コロナ禍を契機として人々の生活習慣は大きく変容しており、利用者の減少や回復の低迷により、依然として需要の回復は鈍く、厳しい経営状況が続いております。

今後につきましても社員一同、いかなる状況においても「安全第一」を深く認識し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、お客様と地域住民の皆様にとって、心から安心できる鉄道事業者となれるよう、努力を続けてまいりますので、引き続き変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

本報告書は、令和3年度における「輸送の安全の確保」に関する取組結果を知っていただくために作成いたしました。

ご一読いただき、皆様のご意見やご感想をいただければ幸いです。

2. 輸送の安全を確保するための基本的な方針等

(1) 安全方針

平成18年10月1日に「安全管理規程」を策定し、輸送の安全を確保するための全社的な方向性を示す基本的な方針「安全方針」を定め、経営トップ以下全社員が一致団結して輸送の安全の確保に努めています。

「安全方針」

- | |
|---|
| 1. 一致団結して輸送の安全確保に努めます。 |
| 2. 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。 |
| 3. 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。 |
| 4. 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義あるときは最も安全と思われる取り扱いをします。 |
| 5. 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。 |
| 6. 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。 |
| 7. 常に問題意識を持ち、必要な変革に努めます。 |

安全方針に関しては、各種会議体や朝礼等において、経営トップ及び安全統括管理者から「安全最優先の原則」「関係法令の遵守」等について全社員に周知徹底を図っています。

また、社員への安全方針の浸透度・定着度の状況については、職場巡回や指導訓練会、ミーティング等を活用して適宜、確認・評価しています。

(2) 令和3年度 安全目標と安全重点施策の実施結果

安全方針に沿い、安全に関する具体的な問題解決（前年度の問題点や課題、単年度及び中長期的な問題解決等）に向け、組織全体・部門において定量的目標「安全目標」を策定し、これを達成するための具体的な取組計画「安全重点施策」を定めています。

令和3年度の安全目標と安全重点施策の実施結果は下記のとおりです。

安全目標

● 責任事故 ゼロ
● ヒューマンエラーによる事故 ゼロ
● 部内原因による輸送障害 5割減

安全重点施策

1. ルールや基準、作業手順の順守と基本動作を実行する。
2. ヒヤリ・ハット情報等の定義づけ、分類や取扱を明確に示すとともに、報告しやすい環境を整備し、各職場から偏りなく幅広く収集し、その情報を分類・整理し、事故等の背後要因や潜在的なリスクを検証するルールや仕組みを構築する。
3. 他事業者の事故情報等を共有し、同種事故の未然防止に努める。
4. 事故・災害等に対する教育・訓練を部門間、社外関係機関と定期的に行い、対応能力の向上に努める。
5. 運輸安全マネジメント制度の趣旨等の理解を深め、安全管理体制の更なる改善を推進するため、必要な係員に対する教育・訓練を計画的に、かつ、定期的に実施する。
6. 必要な施設・設備を整備するとともに、老朽化した施設・設備を更新する。

安全標語 「安全第一」実現のための弛まぬ努力

令和3年度の振り返り

責任事故及びヒューマンエラーによる事故ゼロを達成することができ、運輸安全マネジメント体制の構築・改善に必要な教育・訓練等、老朽化した施設・設備の更新・修繕等を計画どおりに継続することができた反面、

- ① 決められた作業手順どおりに実行できない
- ② 職場での情報共有化が徹底されていないため同じような作業ミスを繰り返す
- ③ 事故等を想定した対応訓練において、冷静な判断ができないほか、状況の変化に

臨機応変に対応できない事例もあり、課題を残しました。

(3) 令和4年度 安全目標と安全重点施策の策定

令和4年度においても令和3年度の安全目標及び安全重点施策を継続し、安全管理体制の維持・向上を図ります。令和3年度の課題を踏まえ、安全重点施策の徹底を図り、安全目標の達成に向けて取り組んでいきます。

安全目標

● 責任事故 ゼロ
● ヒューマンエラーによる事故 ゼロ
● 部内原因による輸送障害 5割減

安全重点施策

1. ルールや基準、作業手順の順守と基本動作を実行する。
2. ヒヤリ・ハット情報等の定義づけ、分類や取扱を明確に示すとともに、報告しやすい環境を整備し、各職場から偏りなく幅広く収集し、その情報を分類・整理し、事故等の背後要因や潜在的なリスクを検証するルールや仕組みを構築する。
3. 他事業者の事故情報等を共有し、同種事故の未然防止に努める。
4. 事故・災害等に対する教育・訓練を部門間、社外関係機関と定期的に行い、対応能力の向上に努める。
5. 運輸安全マネジメント制度の趣旨等の理解を深め、安全管理体制の更なる改善を推進するため、必要な係員に対する教育・訓練を計画的に、かつ、定期的に実施する。
6. 必要な施設・設備を整備するとともに、老朽化した施設・設備を更新する。

安全標語 「安全第一」実現のための弛まぬ努力

(4) 令和4年度「安全・サービス・原価低減」行動指針

令和4年度の安全重点施策を定め、これに関連する「安全・サービス・原価低減」行動指針を策定しています。日々の朝礼や指導訓練会等において企業理念とともに黙読し、意識啓発を図っています。また、職場に掲示するとともに、個人に配布した携帯カードを携行させ、いつでも確認ができるようにしています。

企業理念 事業の目的と使命 地域・社会との信頼を基本におき、お客様への安全性・利便性・快適性を通して、地域共生型サービス企業をめざします。 企業方針 ・ お客様サービスを第一に考えます。 ・ 沿線地域と交流するネットワークを創ります。 ・ 自己責任を果たし、自立する企業をめざします。 ・ 夢と希望のある企業にします。	令和4年度 安全・サービス・原価低減行動指針 安全行動指針 ・ 私たちは、輸送の安全確保が最も重要であることと自覚し、絶えず輸送の安全性向上に努めます。 ・ 疑わしいときは、慌てず、自ら考えて、最も安全と認められる取扱いを選びます。 サービス行動指針 ・ 私たちは、常に地域との共生を意識した取り組みを実践し、地域をつなぐパイプ役としての役割を担います。 ・ 私たちは、えちぜん鉄道の社員として、お客様に笑顔と元気を与えられる接客を心掛けます。 原価低減行動指針 ・ 私たちは、持続可能な鉄道をめざし、絶えずコスト意識を持ち、無理無駄をなくし、業務の改善に努めます。
--	--

自己目標 部署 氏名	企業理念 行動指針  えちぜん鉄道株式会社
---	---

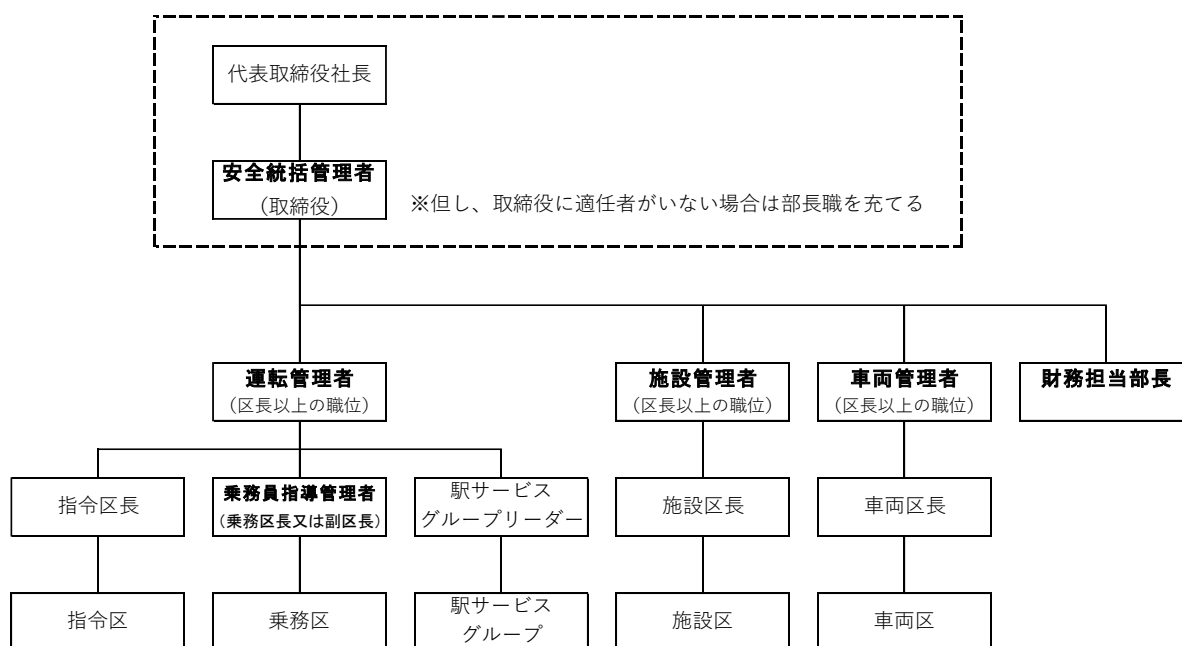


3. 安全管理体制と仕組み

(1) 安全管理体制の構築

輸送の安全の確保に関し、社長をトップとして、安全統括管理者、運転管理者、施設管理者、乗務員指導管理者、車両管理者の役割及び権限を明確にした「安全管理体制」を構築しています。

「輸送の安全の確保に関する組織体制図」



1. 破線の枠内は、事業運営上の重要な決定に参画する地位の者を示す。
2. 太文字の管理者は、安全管理規程に基づき選任する役職を示す。

(2) 責任者と役割

社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者	安全統括管理者の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者	安全統括管理者の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者	安全統括管理者の下、車両に関する事項を統括する。
財務担当部長	設備投資、財務及び人事に関する事項を統括する。

(3) 情報伝達・コミュニケーションの確保

安全対策委員会・安全衛生委員会、運輸・技術コミュニケーション会議などを開催し、組織の縦方向・横方向のコミュニケーションの確保に努めています。これらの会議では、輸送の安全対策に関する事項や、他事業者での事故情報等を参考にした未然防止に関する事項のほか、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等について、区長職以上の役職者で協議した後、情報共有すべき事項や取り決めた事項を持ち帰り、指導訓練会やミーティングで周知し、輸送の安全確保に努めています。

更に、社長並びに安全統括管理者は、国が定めた「年末年始の輸送等に関する安全総点検」（期間は12月10日～翌1月10日）においては積極的に現場に赴き、作業の取組状況などを点検するとともに、社員とのコミュニケーションを図り、安全性の維持・向上及び安全意識の高揚を図っています。

〔安全対策委員会・安全衛生委員会〕



〔総点検：経営トップの現場巡回〕



(4) 内部監査

内部監査は、安全管理体制の構築、改善の取組に関する事項を確認するため、年1回、「年末年始の輸送等に関する安全総点検」にあわせ内部監査員が実施しています。

- ・経営管理部門に対しては「現場の実態を踏まえた施策を実施しているか」
- ・現業実施部門に対しては「安全に係るルールが遵守され、その徹底が図られているか」

など、内部監査員がチェックを行い、安全管理体制上の課題や問題点等を明らかにすることを目的としています。

なお、インタビューは、「安全管理体制に係る「内部監査」の理解を深めるために」（国土交通省「ガイドライン」の解説書）等をもとに、社長、安全統括管理者及び必要に応じて現業実施部門の社員に対して内部監査員が行い、安全管理体制の構築・改善の取組等についての「適合性及び有効性」の確認を行っています。

〔経営トップインタビュー〕



〔安全統括管理者インタビュー〕



内部監査の結果は、内部監査員が所見、指摘事項及び是正要求事項を取りまとめたうえで、監査リーダーから安全統括管理者へ報告するとともに、社長も参加する部長会議へ報告します。指摘事項や是正要求事項については、管理者等が改善を実施するとともに、内部監査委員によるフォローアップも行っています。

(5) 安全管理体制の構築・改善に必要な教育・訓練等

運輸安全マネジメント制度の趣旨等の理解を深め安全管理体制の更なる改善を推進するため、東京海上ディーアール株式会社から講師を招聘し、経営トップ、安全統括管理者、現業実施部門の管理者・職場長及び内部監査員が「運輸事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン全般、ガイドラインから経営トップの責務・安全方針・安全重点施策の詳細、運輸防災マネジメント指針」について受講しました。



運輸安全マネジメント制度の趣旨等の理解を深めるため、令和元年度からの取組ですが、こうした教育等を計画的かつ定期的に行ってまいります。

そのほか、リモート方式による外部セミナーの受講として、国土交通省大臣官房運輸安全監理官室主催による

- ・運輸防災マネジメント指針セミナー

日本鉄道運転協会様主催による

- ・運転設備研修講座

- ・運転法規研修講座

- ・運転関係指導者講習会

に、安全統括管理者や現業実施部門の管理者が参加しました。

(6) 運輸防災マネジメント指針

「運輸防災マネジメント指針」は、近年、自然災害が頻発化・激甚化する中で、自然災害への対応力の向上に繋がる取組を促進するために、運輸事業者が防災体制の構築と実践を進める際に参考とすべき考え方（自然災害への対応力向上のための取組の手引き）を国土交通省が令和2年7月に策定し、公表しました。

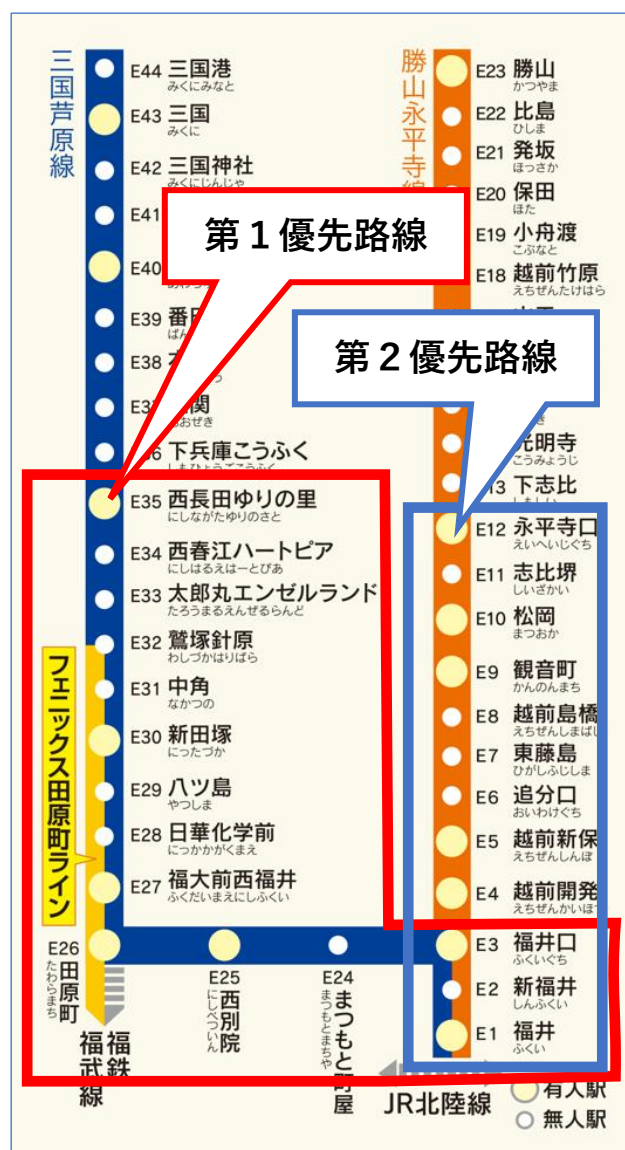
運輸防災マネジメントは運輸安全マネジメントの追加事項で、「防災」と「事業継続」が取組の柱となっており、防災は人的ならびに物的被害の軽減が目的、事業継続は安全最優先のうえで、業務活動の維持や早期に回復を目指すことを目的としています。

当社においても大雪の影響により、平成30年2月と令和3年1月に、全ての線区内で終日運休が数日発生しました。

そのためこれらを踏まえ、大雪に対する事前の備えと迅速な初動として、令和3年度雪害対策実施計画では通常編と「大雪編」を策定し取り組みました。

大雪編では、福井地方気象台様が発表する早期注意情報により線区内で大雪となる可能性が発表された場合（大雪数日～約1日前）は、優先路線（第1優先路線、第2優先路線）に除雪車両をすべて投入し、集中的に線路除雪を行い、早期の運行の確保を図ることを目的に策定しました。優先路線の線路除雪が終わり次第、すみやかに他の線区に拡大するとともに、除雪作業が完了するまでの間は、可能な限りバスでの代替輸送を行うこととしております。

令和3年度においては、10回程度強い冬型の気圧配置に見舞われましたが、幸い大雪編を適用することはなく、通常編で乗り越えることができました。

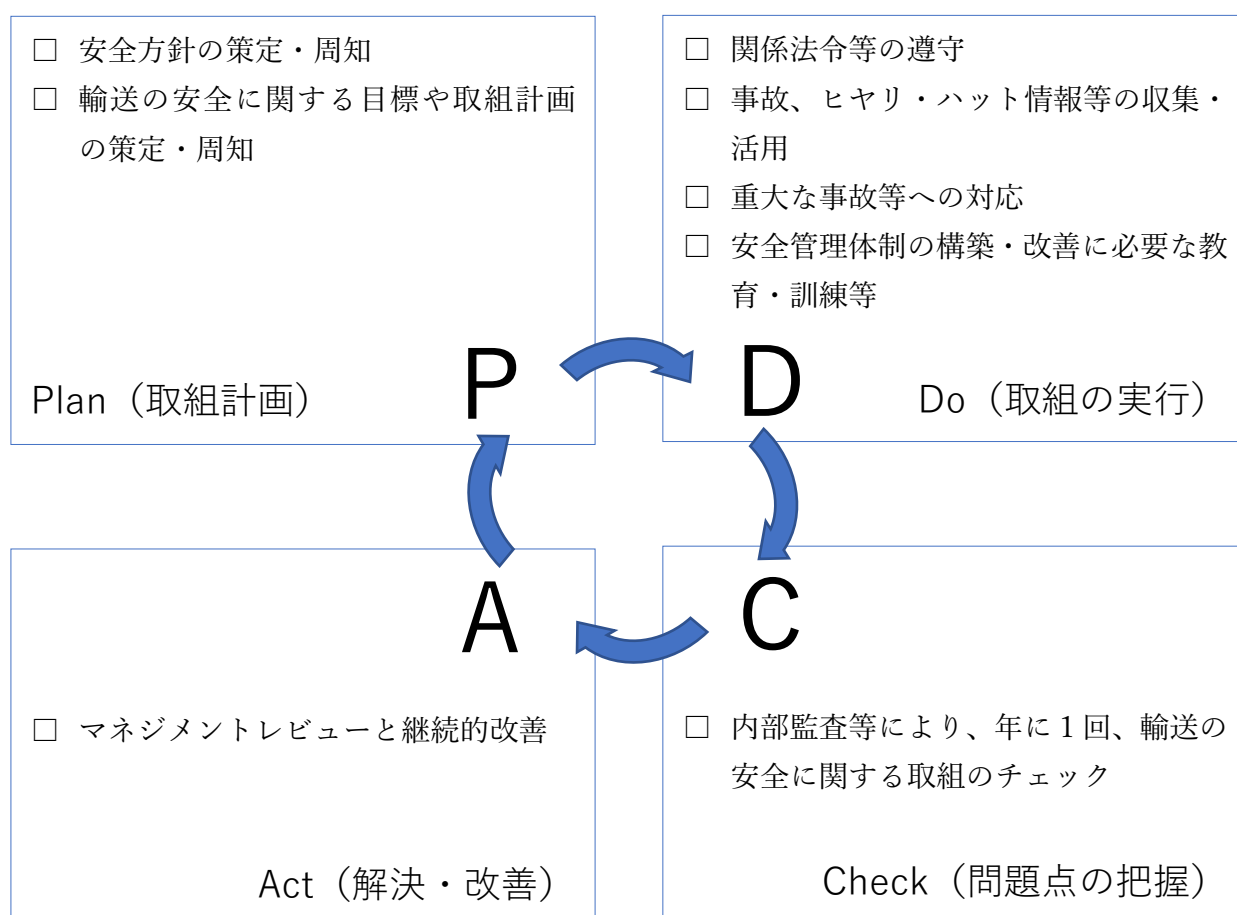


(7) マネジメントレビューと継続的改善

輸送の安全に関する目標や計画の進捗状況・達成状況、事故・トラブルの発生状況、教育・訓練等の結果、現場等からの意見・要望、内部監査の結果など、安全管理体制の実施状況に関する必要な情報を各部門から収集・整理し、安全統括管理者が取りまとめ、社長に報告しています。

これらの結果の下、次年度の輸送の安全に係わる目標や取組計画の策定、組織・人員体制の見直し、安全対策事業の計画・維持等に反映させるとともに、安全管理体制が適切に運営され、有効に機能しているかを確認した上で、継続的な見直し及び改善を行うことにより、安全管理体制の維持・向上に努めています。

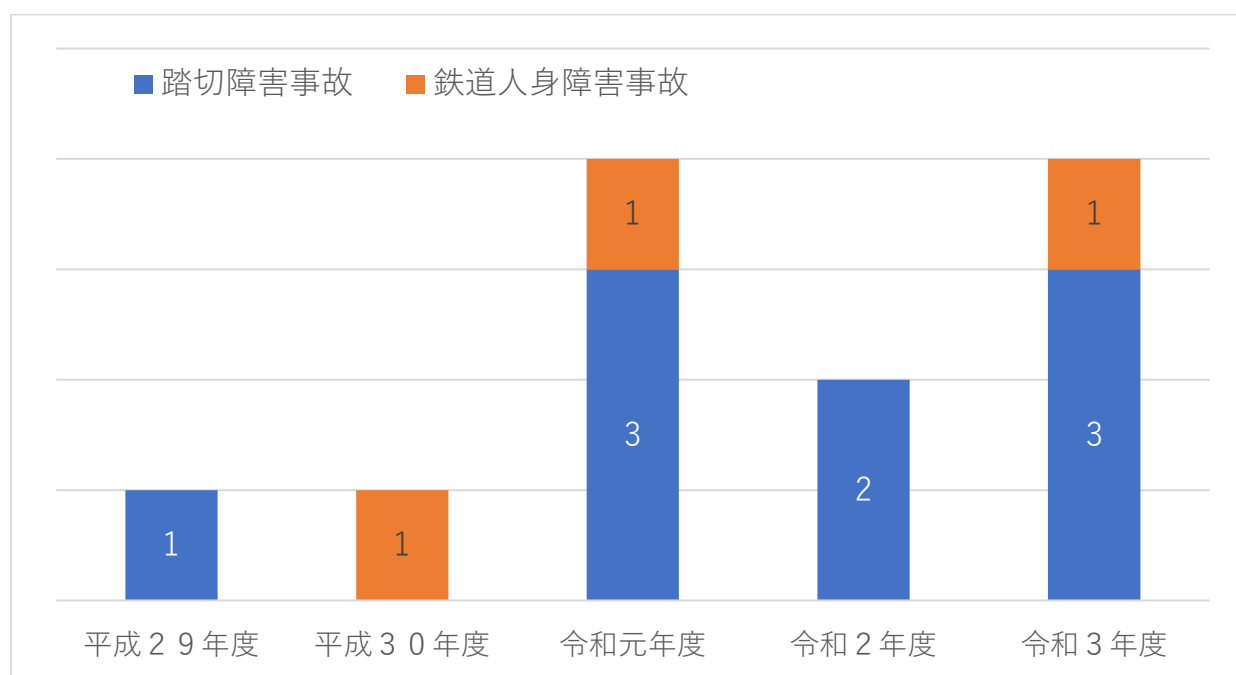
「輸送の安全に関する PDCA」



4. 鉄道運転事故、輸送障害について

(1) 鉄道運転事故

鉄道運転事故とは、列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身障害事故及び鉄道物損事故をいいます。



令和3年度は、第1種踏切道において自動車と衝撃した踏切障害事故が3件および鉄道人身障害事故が1件発生しました。

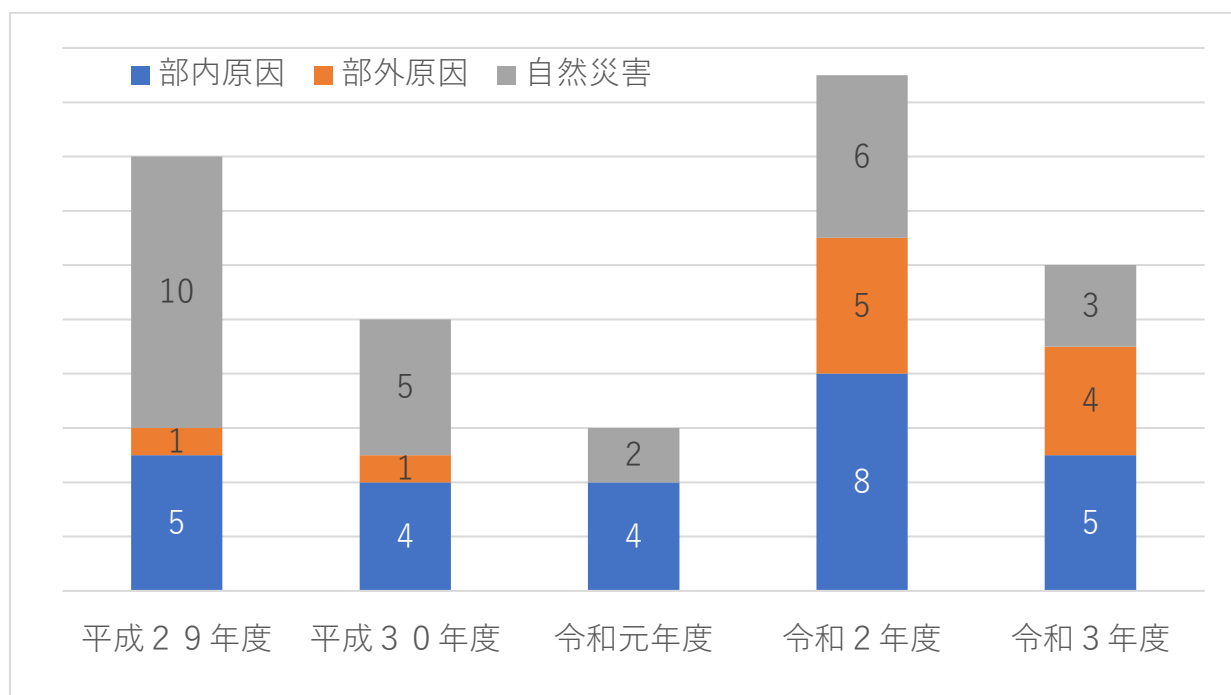
「えちぜん鉄道からのお願い」

- 🔊 踏切手前では、一旦停止し、左右の安全が確認できたらお渡りください。
- 🔊 非常ボタンが設置されている踏切で異常を発見した場合には、直ちに、非常ボタンを押してください。
- 🔊 警報機が鳴りだしたら、踏切には入らないでください。万が一、車が踏切の中に閉じ込められたら、車で遮断かんを押し出し、すみやかに踏切の外に逃げてください。



(2) 輸送障害

輸送障害とは、鉄道運転事故を除き、列車の運転を休止したもの又は旅客列車にあっては30分以上の遅延を生じたものをいいます。



部内原因	鉄道施設・設備、車両等の故障及び鉄道係員が原因となるものをいう。
部外原因	列車支障、踏切支障等、人又は物により列車が支障したもの又は設備・車両が被ったことをいう。
自然災害	水害、風害、雪害、震害、雷害、落石、倒木等が原因のものをいう。

令和3年度の振り返り

部内原因は車両の故障が4件、転てつ装置の故障が1件発生し、安全目標として取り組んだ5割減を達成することはできませんでした。

自然災害については、近年、頻発化している中で、今冬においては10回程度強い冬の気圧配置となったものの、福井地方気象台様への聞き取りに基づく除雪車両による除雪作業や列車運行の調整などを適時に執ったため、計画運休は必要最小限で抑えることができ、安全で安定した輸送を達成することができました。

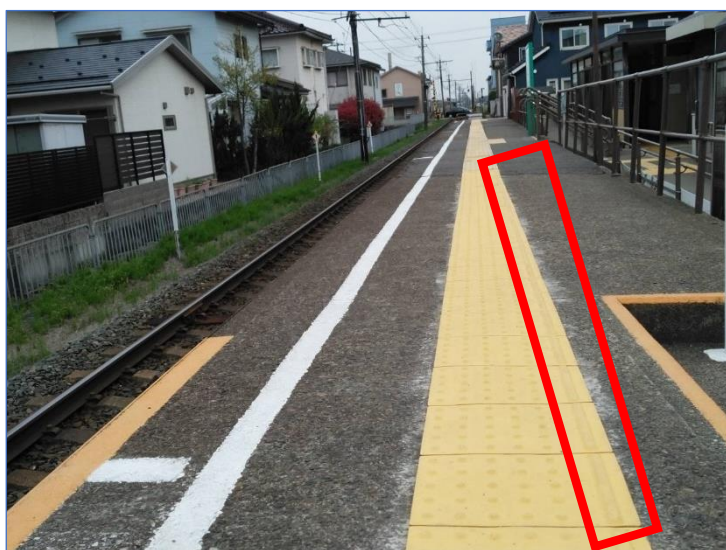


5. 安全・安心への取組について

(1) 駅構内の安全・安心対策

駅構内における安全性の向上に向け、ハード面では内方線付き点状ブロックの整備、ソフト面では鉄道テロへの警備の強化やお体の不自由な方へのお声かけの励行等、お客様が安全で安心して利用できる「駅」に向けて取り組んでいます。

〔内方線付き点状ブロックの整備〕



目の不自由な方のホームからの転落防止対策として、線状の突起をつけてホーム内側の方向を知らせる内方線付き点状ブロックを設置しています。

また、ホームの改良に合わせて、順次、内方線付き点状ブロックに更新しています。

〔テロ対策〕



昨年、他鉄道事業者における一連の傷害事件を踏まえ、駅構内および車両には改めて「危険品持込禁止」の掲示を行い、利用者への周知・啓発に努めています。

（２）踏切道の安全・安心対策

当社における鉄道運転事故は、踏切障害事故が大部分を占めています。踏切保安設備の点検・整備、改善や更新、啓発・広報活動等を通じ、踏切道の安全性の向上に努めています。

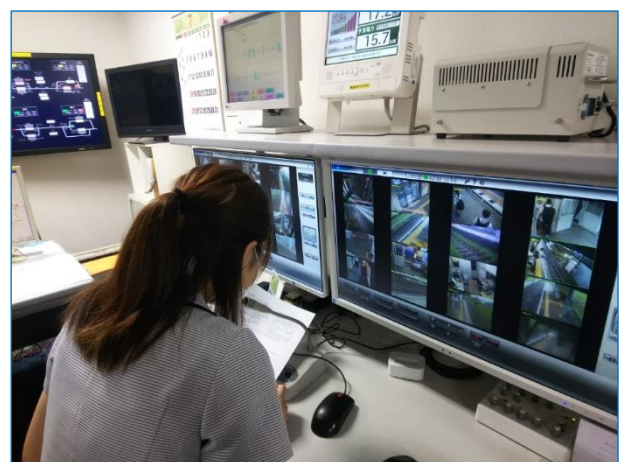
〔視認性の向上〕～全方位型閃光灯へ改良～

事故が発生した又は障害が発生しやすい踏切道においては、従来の一方向とは違い、全方位（３６０度）から点滅している状態がわかる閃光灯に更新しています。



〔啓発広報活動〕

踏切事故をなくすため、また、このことを広く県民に知っていただくために、交通安全運動期間に合わせて踏切道での啓発活動を行うほか、本社から構内放送により４４駅に向けて交通安全をはじめ、危機管理や乗車マナー、新型コロナウイルス感染症対策等の広報活動を行っています。



通学路に指定されている踏切道のうち、注意喚起の路面表示が薄れている踏切道について、道路管理者が安全の確保のために速やかに改良しました。



（３）線路・電気・車両の安全・安心対策

お客様に安全で安心してご乗車いただくために、施設及び車両について法令で定められた検査周期及び検査方法を遵守し、それらの部位に応じた保守点検、整備、これらに伴う補修を実施し、日々、輸送の安全の確保に努めています。

〔線路〕 発条転てつ器の点検



マクラギの交換



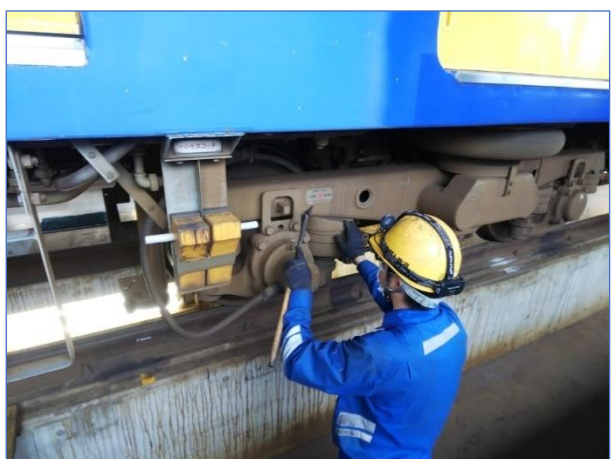
〔電気〕 電気転てつ機の精密検査



電車線路の点検



〔車両〕 列車検査



車軸探傷



(4) 社員の管理、教育、育成

現業実施部門において、年度の教育・訓練の計画を立て、業務に必要な能力の習得、習得した知識・技能の維持、向上のために職制に応じた教育・計画を実施しています。

〔運転士の資質管理〕



運転士が出勤した際に点呼者は、アルコールチェック、健康状態の確認のほか、眼鏡使用者には予備メガネの携帯、私用の携帯電話の管理等の確認を対面で、かつ、厳正に執行しています。

また、年2回の定期健康診断のほか、睡眠時無呼吸症候群（SAS）の検査も行っています。

〔運転士の養成〕

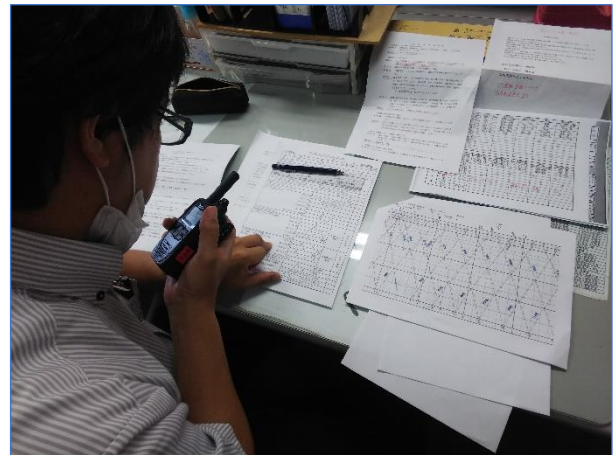


鉄道運転士になるためには、国家試験である「動力車操縦者運転免許試験」において身体検査・適性検査・筆記試験・技能試験の全てに合格しなければなりません。

当社では平成20年度から自社での鉄道運転士養成を開始し、今回で第12期生を任命することができました。技能試験合格後は、指導運転士と約3か月間乗務し、乗務員指導管理者・運転管理者・安全統括管理者の承認を得て、一人乗務の開始となります。

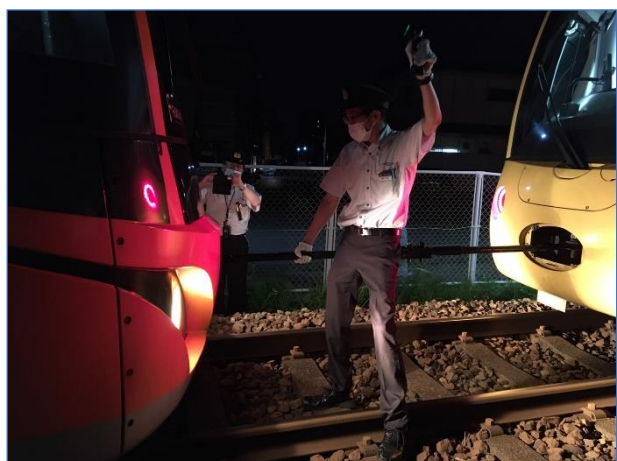
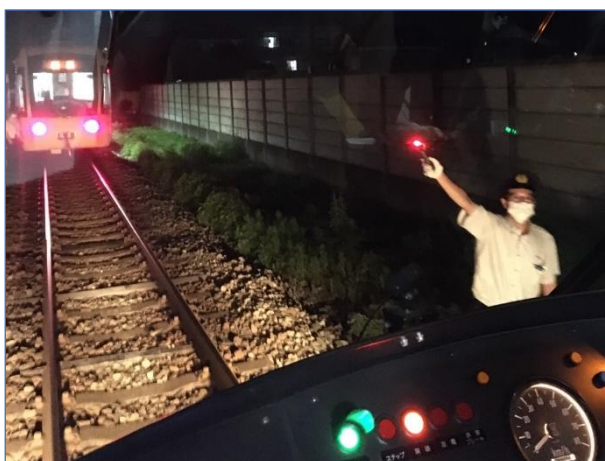
〔信号故障に伴う訓練〕

「出発信号機の故障、その他の事由により使用できなくなった」ことを想定し、運転士と運転指令員間で取扱う代用閉そく方式「指導指令式」に関する訓練を定期的に行っています。信号設備は定期的に整備・更新しており、万が一いつ故障が発生しても、運転士の誰もが適切な対応ができるよう、教育・訓練を積み重ねています。



〔福井鉄道と合同訓練〕

平成28年3月から福井鉄道様と相互乗入を開始以降、年1回、田原町駅において異常時を想定した合同訓練を実施しています。今回は、車両の入換方法、機器故障に伴う復旧に向けた動作確認方法、故障により駅間の途中で停止した場合の救援方法について、双方の運転士間・運転取扱者間での連携や連絡体制について確認しました。



〔お体の不自由な方への研修〕

お体の不自由な方が安心してご利用していただける鉄道会社に向けて「お声かけ、見守り」の励行に努めています。今回は福井市から目の不自由な方と介助者様、社会福祉法人光道園様から講師を招き、駅務員・運転士・アテンダントが駅構内での移動方法や電車への乗降方法について学びました。



〔鉄道テロに対する教育・訓練〕



他鉄道事業者における一連の傷害事件を踏まえ、福井県警察本部から講師を招き「警察への通報手段や連携した避難誘導の方法、不審者から自らの身を守る方法、旅客の安全を確保する手順」等について学びました。「地方だから起こるわけがない」ではなく、進化する鉄道テロに対して高い意識を持ち、教育・訓練を定期的に、かつ計画的に行い、対応能力の向上に向けて努

めてまいります。

このほか、施設区（軌道・電気）、車両区、施設管理G、営業開発Gにおいても部門ごと、又は他部門と連携して事故・災害等を想定した教育・訓練を行っています。

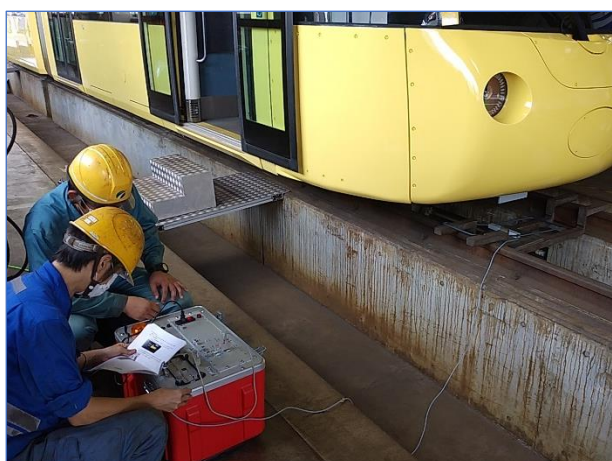
〔軌道・施設管理G〕

福井鉄道様所有軌陸両用除雪車の共同訓練 〔電気〕電車線路のバランス調整



〔車両〕福井鉄道様と周波数の動作確認

〔営業開発G〕緊急時の情報提供



〔研修会・講習会の受講〕

日本鉄道運転協会様が主催する研修会・講習会に積極的に参加し、人材の育成に努めています。

運転設備研修講座	運転設備に係わる法令と運転保安設備の関係を運転保安の観点から、より理解を深め業務に活用する
運転法規研修講座	運転取扱に係わる法令と実施基準の関係を運転保安の観点から、より理解を深め業務に活用する
運転関係指導者講習会	管理者、指導者としての役割と責務を認識し、自らなすべきことを学習する

(5) 重大な事故等への対応訓練

鉄道事業者全体で対応しなければならないような程度・規模の重大な事故等が発生した場合に備え、適切かつ柔軟に必要な措置を講じることができるよう、初動対応措置および消防・警察との相互の連携や関係機関への通報・情報伝達・情報提供等の連携強化を図ることを目的に定期的に実施しています。

● 嶺北消防組合嶺北消防署様と踏切障害事故に伴う集団災害への対応訓練



● 永平寺町消防本部様をはじめ警察・医療機関合同での踏切障害事故への対応訓練



訓練後は、企画した社員や参加した社員からの反省点、課題等を聞き取り、安全対策委員会の中で協議し、対応手順の確認、事故対応に必要な資機材等の見直し・改善に努めています。



（６）再発防止及び輸送の安全の確保のために講じた措置

〔注意喚起看板の設置〕

交通規制の設けられている踏切道において、通行禁止車両の通行を運転士が目撃しています。鉄道事業者として黙認することはできないために、該当する踏切道については「注意喚起看板」を設置しています。

また、特にその通行が多い踏切道については、警察と連携して地元の自治会長に直接説明し協力を求めています。



「えちぜん鉄道からのお願い」

👉 車で踏切を通行するときは、交通規制が設けられていないか、確かめてください。



〔動物との衝撃多発箇所にも動物獣忌避剤入り単管を設置〕



勝山永平寺線で野生動物との衝撃が絶えず、内2件が動物の撤去等に時間を要したため輸送障害となりました。

このため、沿線市町と駆除・回収に関する連絡体制を構築し、かつ、動物が出没する箇所では試験的に動物獣忌避剤の入った単管を設置しました。

〔勝山永平寺線小舟渡駅周辺の災害復旧工事〕

令和3年3月に、小舟渡駅と並行する県道側斜面からの土砂流入により、36日間にわたり一部区間で運休となる輸送障害が発生しました。

鉄道施設の仮復旧工事は令和4年3月末で完了していますが、現在も福井県福井土木事務所による本復旧工事を継続しています。令和4年7月末時点で進捗率は約90%で、落石防護柵工を施工中です。



〔利用者からの申し出に基づいて柵を設置〕

お客様相談室に「電車が接近するときに、駅の改札口を通らず、側道のガードパイプを乗り越えてホームに向かう利用者を最近見かける」と申し出があったため、すみやかに高さ2mの柵を設けて対策しました。



(7) 安全対策事業

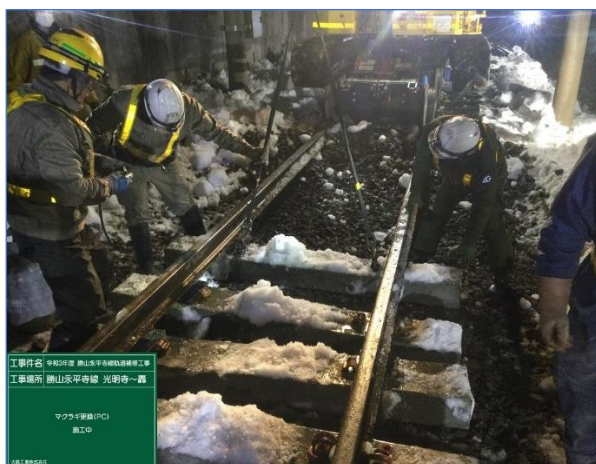
鉄道施設における総合的な安全対策事業を下記のとおり行いました。

勝山永平寺線

- ・ 福井口駅～追分口駅間 通信線の更新（張替）
- ・ 松岡駅～志比堺駅間 道床更換
- ・ 光明寺駅～轟駅間 P Cマクラギ化、道床更換
- ・ 光明寺駅～山王駅間 道床更換
- ・ 越前野中駅～比島駅間 電柱のC P柱化

三国芦原線

- ・ 西別院駅～西長田ゆりの里駅間 電柱のC P柱化
- ・ 西長田ゆりの里駅～大関駅間 道床更換



令和4年度においても引き続き老朽化した施設・設備の更新・修繕を実施します。

「えちぜん鉄道からのお願い」

輸送の安全確保には、大規模な線路工事等の施工が必要となります。そのため、列車の通らない深夜の時間帯に実施することになります。

沿線の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



(8) 新型コロナウイルス感染症対策

えちぜん鉄道では、駅務員及び運転士・アテンダントのマスク着用、手洗いまたは手指の消毒の励行のほか、車内及び待合室等の換気、国土交通省と協力したマスク着用の呼びかけ、定期的な車両及び駅の消毒等に努めています。

〔車両の消毒及び駅の換気対策〕



〔列車の換気対策〕



〔乗務員準備室飛沫防止対策〕



〔掲示類による啓発〕



6. お客さま、沿線の皆さまとともに

【見守りに係わる連携】

沿線市町で行われている、高齢者や子どもの見守り活動に、積極的に参加・協力しています。

〔福井市あんしん見守りネットワーク連絡会〕

高齢者と子どもの見守り活動を行い、地域の中で支援を必要とされている高齢者と子どもを早期に発見し、安心して暮らせる地域社会を目的に活動しています。

〔あわら市安心生活ネットワーク事業〕

あわら市と協力業者が連携することにより、地域の中で支援を必要としている高齢者、お体の不自由な方及び子どもを早期に発見し、必要な支援を行うための見守り体制を構築することを目的に活動しています。

〔子どもの安全と安心のために〕



子どもを狙った犯罪の防止や安全な地域づくりなどを目的として、「こども110番の駅」の取組を行っています。近辺に小学校があり、駅務員がいる9駅でステッカーを貼り、子どもが助けを求めた場合には駅務員が保護し、警察に通報する措置をとります。



日本民営鉄道協会様から、鉄道の安全運行と踏切等での安全の確保、事故防止を呼びかけるための啓発用品の提供を毎年受けています。今回は、沿線市町の小学1年生の皆さん997人に「テッピーオリジナルクリアファイル&ノートセット」を配布しました。

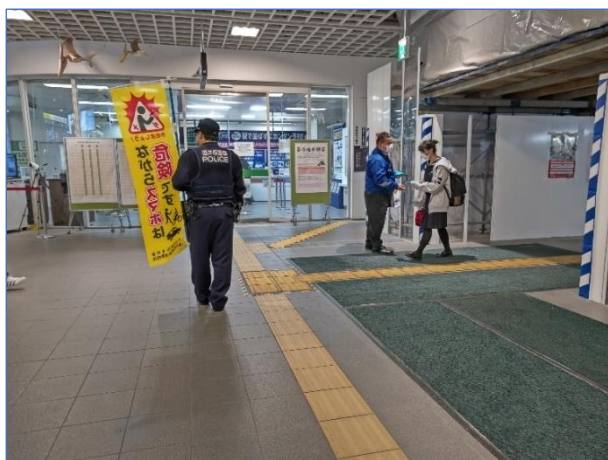
【福井県警察本部と連携】

福井県警察本部と連携し、駅構内や列車内でテロ対策や治安維持のための活動を行っています。

〔福井テロ対策パートナーシップ推進会議〕

官民一体となったテロ対策の推進による「日本一安全で安心な福井県」の実現に向け、警察・行政・民間事業者等が一体となったテロ対策組織を構築し、情報の共有・研修会・テロ訓練・不審情報の提供により、テロを起こさない等の各種対策を推進しています。

〔鉄道警察友の会〕



鉄道警察隊の各種活動を支援激励し、地域に密着した明るい秩序ある駅やその周辺地域の治安・維持に寄与することを目的に活動を行っています。

令和3年度は他鉄道事業者と合同での啓発広報活動や、福井駅や車内における警ら活動やデジタルサイネージを活用した共同広報を行いました。

【沿線サポート団体連絡会議】



地域との共生は、重要な経営理念の一つであり、沿線の住民や団体と情報交換を日頃から行っています。コロナ禍により令和3年度は5回、様々なかたちでご支援いただいている市町サポート団体の長と県市町担当課において、利用実績やサポーターズクラブ加入状況、サポート団体の取組やイベント関係などの情報交換を行っています。

【体験学習】



小学生においては、町のいろいろな施設、人々の様子に関心をもち、友達と協力して町探検をすることで地域との新しいかかわりを広げるために、また高校生においては、職場での体験を通して、様々な世代の人たちと接する機会を持つことで、コミュニケーション能力を向上させるために、こうした体験学習を受け入れています。

【おえかき電車】



えちぜん鉄道利用促進への取組に関し、県立高志高校の課題研究授業の一環で、生徒たちが考えた企画の中から採用されたもので、電車の名前は「みんなでつながろう！ my 列車」です。コロナ禍の影響がありますが、「えちぜん鉄道を元気に」という趣旨の下、生徒たちが企画立案から関係各所の調整まで実施しました。

電車に飾られている塗り絵は、この取組に協力していただいた3園のこどもたちに描いていただきました。

【デジタル化、キャッシュレス化への対応】

多様で、より便利なサービスをお客様に提供するため、デジタル化、キャッシュレス化への対応を、国、市町の補助をいただきながら進めています。

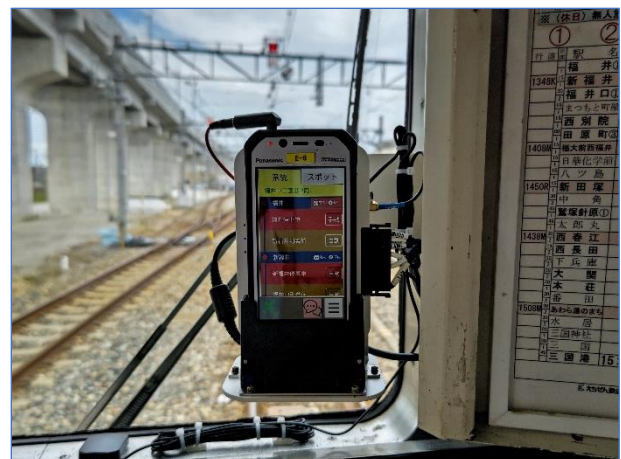
キャッシュレス機能付自動券売機は、福井駅、福井口駅、永平寺口駅、勝山駅、福大前西福井駅、あわら湯のまち駅、三国駅の7駅に設置しました。

モバイルチケットについては、スマートフォンアプリ「RYDE PASS」をダウンロードすることで購入可能で、えちぜん鉄道一日フリーきっぷと福井鉄道共通1日フリーきっぷが購入できます。

〔キャッシュレス機能付自動券売機〕



〔多言語自動放送案内装置〕

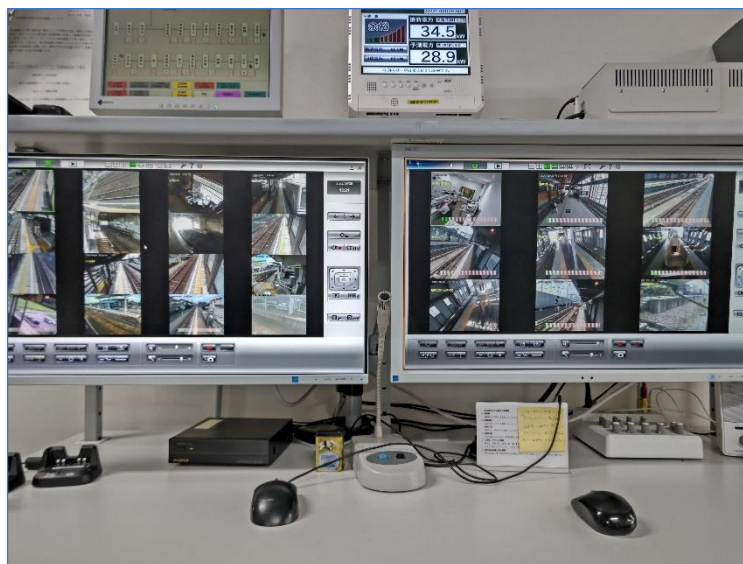


〔モバイルチケット〕



ホームページツイッターにおいて、午前6時・7時の2回、列車運行状況を提供しています。このほかに、「列車に運休が生じた場合」「複数列車に10分以上の遅れが生じた場合」などにおいても提供しています。

また、運転指令室から必要に応じて「ネットワーク音声カメラ」を活用し、直接、お待ちのお客様へ情報発信を行っています。



【お客様相談室】

当社では、お客様相談室を設けています。時刻や運賃、お乗り換え等各種のお問い合わせや、お客様からのご意見・ご要望をうけたまわる窓口です。

お客様相談室	
受付時間	平日・土曜日 午前8時30分～午後5時30分
電話番号	0120-840-508

メールでのお問い合わせ、ご意見・ご要望につきましては、

「えちぜん鉄道ホームページ」 <http://www.echizen-tetudo.co.jp/>

お問い合わせ（メール）から、ご利用いただきますようお願いいたします。





えちぜん鉄道 2022年安全報告書

2022年9月